

平成22年度環境技術実証事業 ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術）
運営全般に関するアンケート調査票／集計結果 [対象：実証済み技術の所有者]

第I部 ご回答頂く方の情報

【設問1】回答者に関する情報

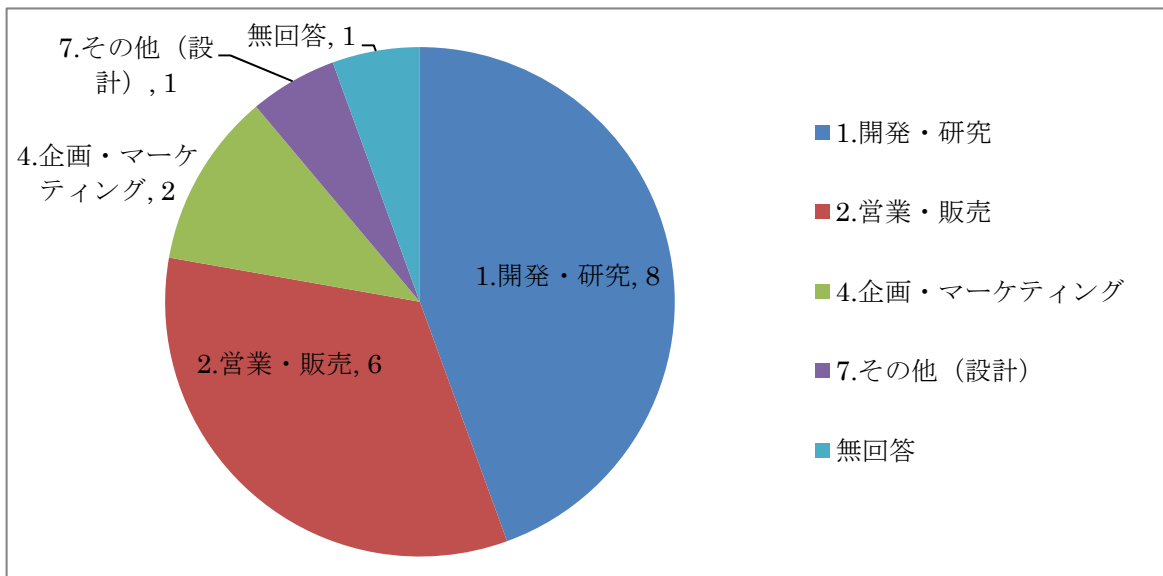
この調査票に回答いただく方についてご記入下さい。

項目	選択肢	回答数
1. 業種*	1. メーカー（自社開発）	16
	2. メーカー（他社品）	1
	3. 商社・流通	1
2. 職種*	1. 開発・研究	8
	2. 営業・販売	6
	4. 企画・マーケティング	2
	7. その他（設計）	1
	無回答	1

この調査票に回答いただく方と本事業の関係についてご記入ください。

3. 事業と企業との関係	1. 実証申請者である	18
	2. 実証申請者の関連企業である	0
4. 事業との関係	1. 申請担当者である	14
	2. 申請担当部署に所属している	3
	3. 担当部署に所属していない	1

※回収率：18/91（20%）



第Ⅱ部 事業における成果・効果について

【設問 2】 ETV マークの利用について

(1) マークの利用実態

ETV マークを環境省より交付（当センターより配布）しておりますが、利用をなさっていますか。
または、利用を検討なさっていますか。ご回答ください（以下のいずれかに○をご記入願います）。

項目	記入欄	
a. 利用している	16	→ SQ1へ
b. 利用を検討している	1	→ SQ1へ
c. 利用していない	1	→ SQ2へ



実証事業ロゴマーク（ETV マーク）

SQ1 [前項で a. または b. をご回答の方] 利用方法

項目	記入欄（複数回答）
a. WEB で利用している	9
b. カタログに掲載している	9
c. その他	
<ul style="list-style-type: none">● シールを作成し、対象商品に貼り出荷しています。● 製品に表記している。● 現在カタログ作成中	

SQ2 [(1) 利用実態で c. をご回答の方] ETV マークを利用しない理由をお答えください（ご自由にご記入ください）。

<回答欄>
<ul style="list-style-type: none">● どのように利用してよいか、よく判らないため。

【設問 3】 実証事業ロゴマーク（ETV マーク）の利用範囲について

(1) 実証申請者の Web サイトだけでなく、販売代理店や施工業者の Web サイトにもロゴマークを掲載しても良いことを御存じですか（以下のいずれかに○をご記入願います）。

項目	記入欄	
a. 知っている	5	→ (2)へ
b. 知らない	13	→ (3)へ

- (2) (1)で『a.知っている』を選択された方に伺います。販売代理店や施工業者に対し、Webサイトにロゴマークを掲載するようにご依頼なさっていますか。ご回答ください(以下のいずれかに○をご記入願います)。

項目	記入欄
a. 掲載するよう依頼している	2
b. 掲載についての依頼はしていない	3

- (3) 販売代理店や施工業者向けの研修で、ロゴマーク取得の紹介をなさっていますか。ご回答ください(以下のいずれかに○をご記入願います)。

項目	記入欄	
a. 紹介している	5	→(4)へ
b. 紹介していない(紹介することを計画している)	7	→(4)へ
c. 紹介していない(今後の計画もない)	4	→設問4へ
d. 研修を実施していない	2	→設問4へ

- (4) (3)の研修で、実証済み製品を顧客に説明する際、ロゴマーク取得の紹介をするように依頼なさっていますか。ご回答ください(以下のいずれかに○をご記入願います)。

項目	記入欄
a. 掲載するよう依頼している	3
b. 掲載についての依頼はしていない(今後依頼することを計画している)	6
c. 掲載についての依頼はしていない(今後の計画もない)	2
d. その他	
<ul style="list-style-type: none"> ● 社内にてETVに関する周知徹底がまだ不完全な為、顧客に説明する際の拡売目的としてETVがまだ機能していない。その為、顧客説明まで至っていない。 	

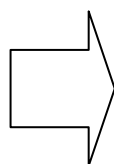
【設問 4】 実証事業ロゴマーク（ETV マーク）の利用について

[対象：H20 及び H21 年度の何れも実証された申請者の方 → 左記以外の方は次の設問へ]

平成 20 年度以前と平成 21 年度の両方で申請した実証申請者に質問します。平成 20 年度以前のロゴマークと平成 21 年度の実証番号が記載されたロゴマークでは、以下に示す a. ～c. の点を変更しています。それぞれの変更点についてご感想をご回答願います。

項目	変更により改善された	どちらでもない	変更前の方がよい
a. 解像度	3	4	0
b. 掲載の手間	2	5	0
c. 注意書き	3	4	0

[参考]



全実証済み技術で使用可能なマーク

H21 年度の実証済み技術に対して配布したマーク

■平成 21 年度での変更点

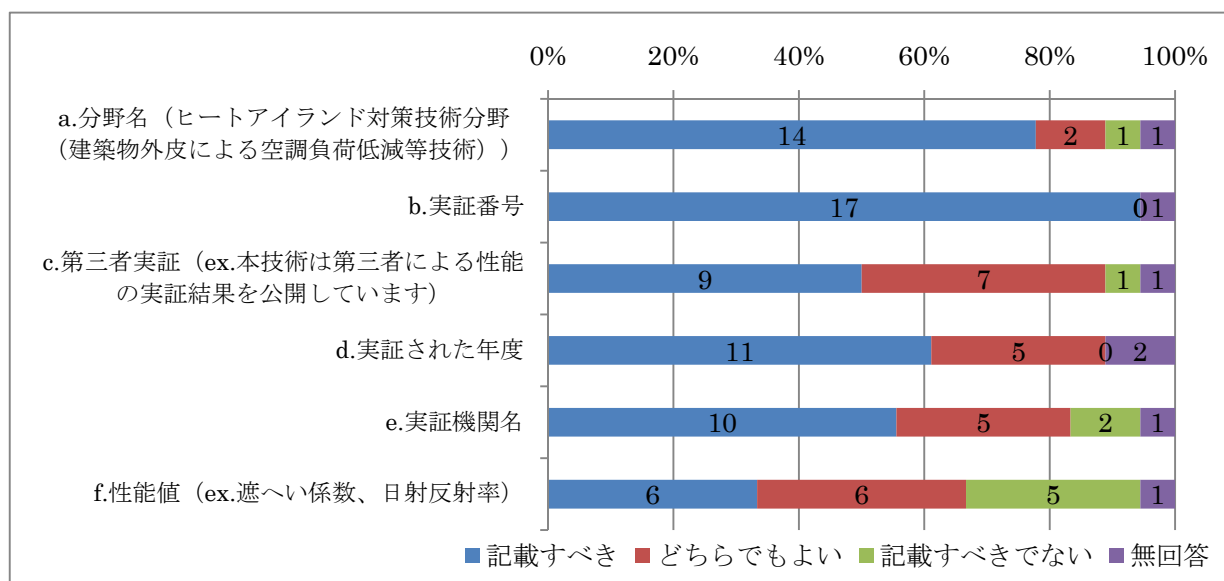
- a. 解像度を上げ印刷物に使用できるようにした
- b. 実証番号を付加してカタログや Web ページで文面を追加する手間を省いた
- c. 認証でない旨の注意書きを付加した

【設問 5】新ETV マーク（仮称）について

ETV マークは、本年度より分野別に掲載項目を追加できることとなりました。今後、本アンケート等をもとに追加する掲載項目を検討いたします。→ 詳細は、実証事業実施要領をご参照下さい。

(1) 新ETV マークにおいて、記載すべきと考える項目をお答えください（記載すべきとお考えの項目の記入欄に○をご記入願います）。

項目	記載すべき	どちらでもよい	記載すべきでない	無回答
a. 分野名（ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術））	14	2	1	1
b. 実証番号	17	0	0	1
c. 第三者実証	9	7	1	1
d. 実証された年度	11	5	0	2
e. 実証機関名	10	5	2	1
f. 性能値（ex. 遮へい係数、日射反射率）	6	6	5	1



SQ3 [前項で f. をご回答の方] 記載すべきと考える性能値をご回答ください。

- <回答欄>
- 可視光透過率、可視光反射率、日射透過率、日射反射率、日射吸収率、遮蔽係数、熱貫流率
 - 日射反射率
 - 日射反射率、色、遮蔽係数
 - 遮へい係数、熱貫流率

(2) ETV マークに対する要望

ETV マークの利用・表示その他に関して、ご要望などございましたらご自由にご記入ください
(ETV マークへのお気づきの点でも結構です)。

<回答欄>

- 記載する文面が多すぎて、マーク自体が目立たなくなるのは避けたいです。
- 利用するにあたっての方法、注意点や効果について教えてほしい。
- マークの横に環境省の認証であることを一文添えるような形で表記してもらいたい。信頼性の向上につながると思われるため。
- 米国の NFRC (National Fenestration Rating Council) 等では、評価した光学特性の公表をし、且つ製品に貼付できるようなシールも出しているようです。受け取った製品における、空調負荷への影響を評価する上で、遮へい係数・熱貫流率を、前へ出すことは有意義であると思われます。

【設問 6】 実証試験結果報告書の利用について

(1) 実証試験結果報告書を利用しているかどうか。

項目	記入欄	
a. 利用している	13	→ SQ4へ
b. 利用を検討している	3	→ SQ4へ
c. 利用していない	2	→ SQ5へ

SQ4 [前項で a. または b. をご回答の方] どのような方法で (配布、WEB 掲載、カタログへの引用など) の利用をなさっていますか (考えていますか)。ご自由にご記入ください。

項目	記入欄
a. WEB で利用している	1
b. カタログに掲載 (引用) している	2
c. 印刷物を配布している (社内への配布を除く)	8
d. その他	
● プレス発表時に試験結果を引用した。(a)	
● 顧客に説明する際に、カタログの ETV マークの説明と印刷物の配布を予定。(c)	
● 必要に応じて比較資料として紹介している。(c)	
● クライアントから製品の性能に関するデータの提示を求められた場合に提出する。(c)	
● 必要に応じて、営業先でお見せする。(c)	

SQ5 [前項で c. をご回答の方] 実証試験結果報告書を利用していない理由をお答えください (ご自由にご記入ください)。

<回答欄>

- 部分的な広告・宣伝に限定しているため (現在)
- 反射率だけが議論の対象となるが多いため、積極的な利用はしていない。

(2) 実証試験結果報告書に対する要望

実証試験結果報告書の表示内容・利用方法・引用方法その他に関して、それぞれあてはまるものに○をご記入願います。2 を選択される場合は、ご意見（改善案など）をご記入ください。

項目	回答欄	
	1. 問題ない	2. 改善した方がよい
a. 表示内容（説明等）について	15	3
b. 利用方法について	18	0
c. 引用方法について	18	0
ご意見		
<ul style="list-style-type: none">● 省エネ計算方法の説明をもう少し解りやすくした方が良いと思う。専門知識がない人が見ても理解しやすいように。● フィルムを貼付したガラスの使われ方が実情を反映していないように思われる● 拡売目的での運用には至っておらず、今後改善案等出る可能性はあります。● 説明等は分野に詳しくない人にももう少しわかりやすい形にしてくれると使いやすい。		

【設問 7】 実証事業に参画した効果について

実証事業に参画頂いた効果をお感じになりますか（あてはまるものに○をご記入願います）。

項目	記入欄	
a. 効果を感じる	11	→ SQ6へ
b. 効果を感じない	7	→ 設問8へ

Q6 どのような点で効果がありましたか。技術への問い合わせ・売り上げの向上・その他について、それぞれ当てはまるものに○をご記入願います複数回答可。

項目			記入欄（複数回答）	
a. 技術についての問い合わせが増えた	報道発表・ 環境省実証事業サイトを通じて	1-9 件	4	
		10-49 件	1	
		50 件以上	0	
	実証試験結果報告書を通じて	1-9 件	4	
		10-49 件	2	
		50 件以上	0	
	ETV マークの貼付によって (WEB)	1-9 件	0	
		10-49 件	1	
		50 件以上	0	
	ETV マークの貼付によって (カタログ)	1-9 件	2	
		10-49 件	0	
		50 件以上	0	
	特定できない			3
b. 売り上げが向上した	報道発表・ 環境省実証事業サイトを通じて	1-9 件	2	
		10-49 件	0	
		50 件以上	0	
	実証試験結果報告書を通じて	1-9 件	3	
		10-49 件	1	
		50 件以上	0	
	ETV マークの貼付によって (WEB)	1-9 件	1	
		10-49 件	0	
		50 件以上	0	
	ETV マークの貼付によって (カタログ)	1-9 件	1	
		10-49 件	0	
		50 件以上	0	
	c. その他			
	<ul style="list-style-type: none"> ● 展示会等での提出に際し、環境省事業への参加意識アピールに有効 ● 引き合い等はあるものの売上増になったかは判別できません。 ● 売り上げや利益に直結したわけではないが、公的機関の実証データということで信頼性を得ることができている。また、同業他社の製品とも同じ条件でデータを計測しているため、比較がしやすい。 ● 業界新聞等で PR 業者からの宣伝案内が多い。 ● 間違いなく問い合わせ増や売上増に結びついていると考えられるが、具体的な数値が把握できない。 			

第Ⅲ部 事業に対する理解

【設問 8】「実証」事業に対する理解について

- (1) 前述いたしました「実証」の意味は、対内的（御社内において）、対外的（販売代理店・施工業者・エンドユーザー等）に理解されているとお感じになりますか（それぞれの表について、いずれかの項目に○をご記入ください）。

項目	記入欄	
	社内	社外
a. 理解されている。	10	4
b. 理解は進んでいると思うが、完全に把握されていない。	8	11
c. 理解されていない。	0	3

<回答欄（対外部）>

- 「環境省実証事業」自体を社会に認知させることが必要と考えます。
- 社内で理解を深め顧客に説明（実証事業を取得した事による強み、明確な拡売戦略）。
- この結果が無ければ必要に応じて問い合わせ、回答させるのがこれまでのやり方なので、そこに確実性が加わったという程度の認識だと思われまます。誤認識で広告している事業者に注意喚起してはいかがでしょうか？

第Ⅳ部 その他

【設問 9】 その他

- (1) 今後、本事業が継続するとした場合、実証事業に申請したいと思いますか。これまでに本事業で取り扱ってきた技術について、未だ取り扱っていない技術についてご回答ください。

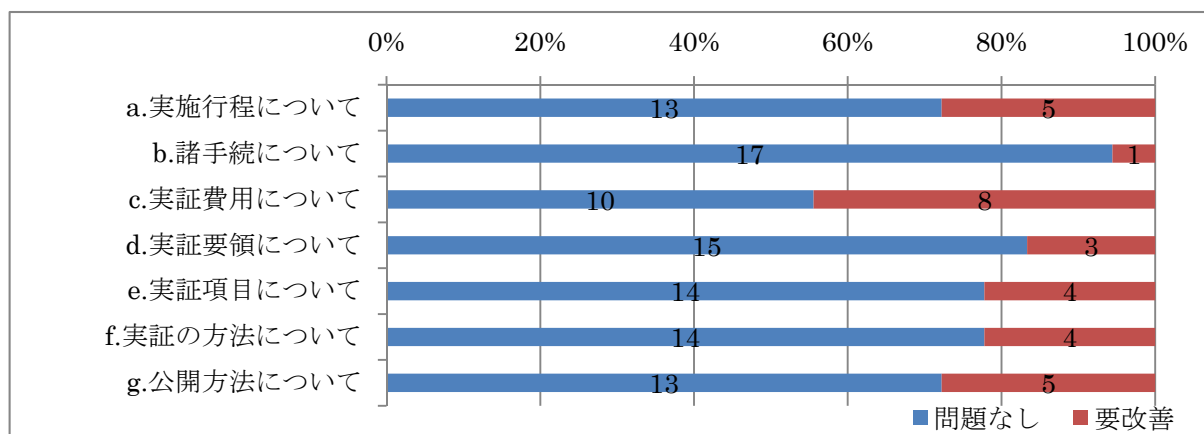
項目	記入欄（複数回答）
a. 今後もこれまでに実証された技術分野で実証に申請したい	8
b. 今後は、まだ実証がされていない技術の種類を提案し、実証したい	1
c. 今後の申請は予定していない。	5
無回答	3

(2) 本事業の実施方法について、それぞれご回答願います。選択肢の右側を選択される場合は、ご意見（改善案など）をご記入ください。

項目	回答欄		改善提案
	1. 満足ほか	2. 要改善	
a. 実施行程について	13	5	<ul style="list-style-type: none"> • 短期間に • 募集期間と頻度 • 募集期間をもっと延長したほうがよい。 • 今年度も実施されたことについて見逃してしまった
b. 諸手続について	17	1	<ul style="list-style-type: none"> • メールで案内して欲しい
c. 実証費用について	10	8	<ul style="list-style-type: none"> • もう少し安く • もう少し低減を希望 • 検証内容対して割高 • 安価ならば better • 費用対効果が分からない • 多少安くすべき。 • もう少し安価に
d. 実証要領について	15	3	<ul style="list-style-type: none"> • 分かりやすくしてほしい。
e. 実証項目について	14	4	<ul style="list-style-type: none"> • JIS A 5759:2008 6.9 耐候性試験を実施すべき
f. 実証の方法について	14	4	<ul style="list-style-type: none"> • シミュレーションの気象データが 1990 年代と古い
g. 公開方法について	13	5	<ul style="list-style-type: none"> • 単なる他社とのデータ比較としてとらえられる • ヒートアイランド対策技術分野における費用対効果の部分で、夏の数値はしっかりと出ていたが、冬の数値は他社も含めマイナスになってしまうのがよくわからなかった。計測方法の見直しも必要だと思う。

ご意見

- 実証試験の申請から結果がでるまでの期間、ある程度でいいので中間報告等があると、社内外へ情報の発信がしやすいと思います。
- 申し込んでから、結果が出るまで長すぎる気がします。1000 時間の耐候性試験の期間を要する点は理解できますが、その後の検証が長すぎると感じられます。
- 高反射率塗料の場合、明度が高い塗料が有利な計算結果となっている感を否めない。



(3) 今後、本事業に期待すること、要望すること、改善すべきこと

<回答欄>

- 実証事業の意義があまり理解されていないように思われる。実際のところ反射率の数値だけがユーザーからは議論の対象になることが多い。
- 可能であれば申請費用を低減していただければと思います。
- このまま継続して頂きたい。
- 公式サイトのトップページから実証試験結果が掲載されているページへわかりやすくアクセスできるようにして欲しい。ホームページ全体としても字の大きさが小さく、必要な情報がどこに記載されているかわかりにくい。
そして環境技術実証事業というものをより広く知ってもらうためにも、まずはもっとPRをして欲しい。例えば環境関連の展示会の公式サイトにリンクを貼ったり、展示会の会場などでチラシを配布したりすることで、知ってもらうきっかけにはなるはずである。
加えて、今後できれば環境技術実証事業を取得した企業に優先的に融資や補助金が充てられるようなシステムができることを希望する。費用を捻出して性能試験のデータを出してもらっただけでなく、何かが優遇されるような制度があると注目度も上がるため、実証事業自体のステータスも上がると考える。
- グリーン購入法等との連動を画策して頂きたい
- 各社の技術実証試験結果報告書の全内容がWEB上同一の箇所に記載されています。
これらを利用して、個社の購買のツールとして他社のものを比較して出すケースが見受けられます。
完全に同明度、同色相での比較であるとは考え難く、また耐候性や汚染性の違いによる遮熱性能の保持、経年劣化などの性能についても同一であるとは考えられません。
このような状況で、若干明度を高く作り、遮熱性能が良いと一般顧客に対して比較購買された場合、問題となる可能性が考えられます。従って、公開するのは社名及び商品名のみ
の記載とした方が良いと考えます。
- 本事業が公知となり、省エネ、CO2削減に効果が発揮出来るとの認識が世間一般となり結果的に塗料業界が活性化することを期待します。